

# 事業概要シート

施策： 青少年の健全育成

《 》は、29年度の当初予算

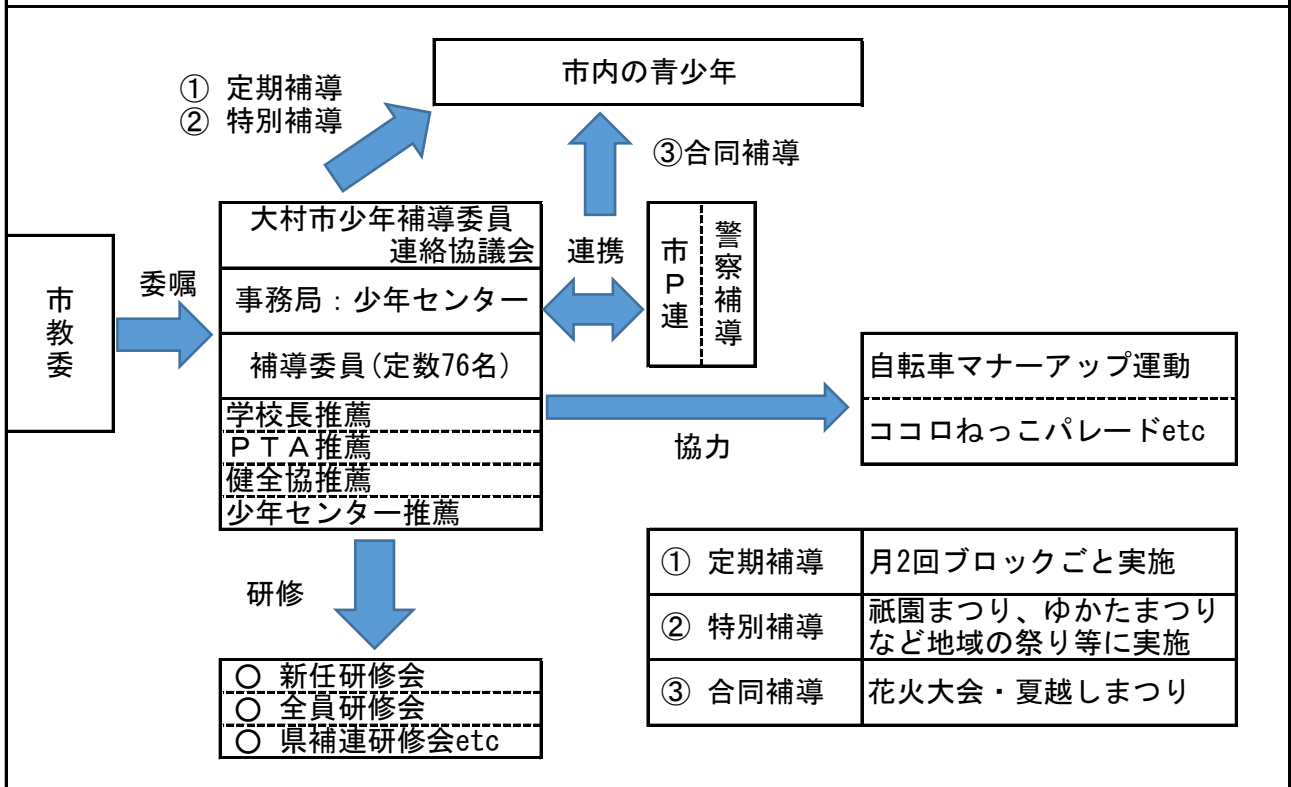
事業名： 巡回補導事業	現状維持	予算額	2,821 千円	
			《 3,187 》	
		財源内訳	国庫支出金	0 千円
			県支出金	0 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	2,821 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

市内非行少年の減少や少年非行の抑止を目的に愛の声かけを中心とした補導活動を行うとともに補導委員の資質向上に努める。

（補導）委嘱された全75名の補導委員が14のブロックに分かれ、それぞれブロックごとの計画補導を毎月2回、祭り開催時の特別補導を年に数回実施する。

（研修）新任研修会、全員研修会を計画的に実施し、補導技術の向上を図るとともに補導委員の資質向上に努める。



## 【背景】

青少年の犯罪、不良行為については、年々減少傾向にあるが、再犯率の高さや犯罪の低年齢化が顕著になってきている。  
大村市においては、青少年が被害に合う事件は発生していない。地道ではあるが補導委員の活動が犯罪の抑止になっていると思われる。

担当課	教育委員会社会教育課(少年センター)	問合せ先	0957-54-6405
-----	--------------------	------	--------------

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	研修会参加者人数(新任研修会、全員研修会、県補連研修会)	人	160	170	180	190	200
②	補導活動への年間延べ参加者数	人	920	940	960	980	1,000

### 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	大村警察署管内の不良行為少年数	人	341	340	330	320	310
②							

### 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	2,670	2,720	2,720	3,187	2,821	2,821	16,939
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,670	2,720	2,720	3,187	2,821	2,821	16,939
人件費	4,416	4,325	4,310	3,758	3,758	3,758	24,325
職員	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人	2.82人
時間外勤務	62h	135h	76h	170h	170h	170h	783h
嘱託員	0.40人	0.40人	0.40人	0.00人	0.00人	0.00人	1.20人
フルコスト	7,086	7,045	7,030	6,945	6,579	6,579	41,264

妥当性 (市の関与)	少年非行は、その本人及び家族の問題にとどまらず、地域あるいは市全体の街づくりにかかわってくる。市は、学校や警察等関係機関と連携し現状分析や社会情勢も考慮したところで対策を練る必要がある。また、市が補導委員を委嘱することで、補導委員の立場も明確になり、補導活動がより効果的になる。
有効性 (施策貢献度)	少年非行は、毎年減少している状況である。少年補導委員の活動は、非行の未然予防や犯罪の起きにくい町づくりに貢献している。
効率性 (コスト)	必要最低限の経費を計上しており、これ以上の削減はできない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり